



Wide Area Bonjour の設定

- [Wide Area Bonjour ドメインの設定 \(1 ページ\)](#)

Wide Area Bonjour ドメインの設定

Wide Area Bonjour ドメインの設定では、Cisco DNA Center で実行されている Wide Area Bonjour アプリケーションであるコントローラのパラメータと、SDG エージェントからコントローラにエクスポートする必要があるサービスタイプを指定します。Wide Area Bonjour ドメインの設定では、Local Area Bonjour の場合と同様に、サービスリストとサービスポリシーを作成します。ただし、SDG エージェントからコントローラへの出力ポリシーのみが適用されます。

デバイスでの mDNS ゲートウェイの有効化

デバイスで mDNS を設定するには、次の手順を実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 プロンプトが表示されたらパスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 3	mdns-sd gateway 例： Device(config)# mdns-sd gateway	デバイスで mDNS を有効にし、mDNS ゲートウェイ コンフィギュレーションモードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
		<p>mDNSゲートウェイ コンフィギュレーション モードで次のコマンドを入力して、それぞれの機能を有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • air-print-helper : iPad などの IOS デバイスが Bonjour 対応の旧式のプリンタを検出して使用できるようにします。 • cache-memory-max : キャッシュのメモリの割合を設定します • ingress-client : 入力クライアントの packets-per-second を設定します • rate-limit : 着信 mDNS パケットのレート制限を有効にします • service-announcement-count : 最大アドバタイズメント数を設定します • service-announcement-timer : アドバタイズメントアナウンス タイマーの周期を設定します。 • service-query-count : 最大クエリ数を設定します • service-query-timer : クエリ転送タイマーの周期を設定します • service-type-enumeration : サービスの列挙数を設定します <p>(注) 一般的な展開の場合は、cache-memory-max、ingress-client、rate-limit、service-announcement-count、service-announcement-timer、service-query-count、service-query-timer、および service-type-enumeration コマンドのパラメータのデフォルト値それぞれを保持できます。必要に応じて、特定の展開の場合は異なる値を設定します。</p>

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	exit 例： Device(config-mdns-sd)# exit	mDNS ゲートウェイ コンフィギュレーション モードを終了します。

カスタムサービス定義の作成

サービス定義は、1つ以上の mDNS サービスタイプまたは PTR リソースレコード名に管理者フレンドリ名を提供する構造体です。デフォルトでは、いくつかの組み込みサービス定義が事前に定義されており、管理者が使用できるようになっています。組み込みのサービス定義に加えて、管理者はカスタムサービス定義を定義することもできます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 プロンプトが表示されたらパスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	mdns-sd service-definition <i>service-definition-name</i> 例： Device(config)# mdns-sd service-definition CUSTOM1	mDNS サービス定義を設定します。 (注) 作成されたカスタムサービス定義はすべて、プライマリサービスリストに追加されます。プライマリサービスリストは、カスタムおよび組み込みのサービス定義のリストで構成されます。
ステップ 4	service-type string 例： Device(config-mdns-ser-def)# service-type _custom1._tcp.local	mDNS サービスタイプを設定します。
ステップ 5	カスタムサービス定義で複数のサービスタイプを設定するには、ステップ 4 を繰り返します。	
ステップ 6	exit 例：	mDNS サービス定義コンフィギュレーション モードを終了します。

	コマンドまたはアクション	目的
	Device(config-mdns-ser-def)# exit	

サービスリストの作成

mDNS サービスリストは、サービス定義の集合です。サービスリストを作成するには、次の手順を実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 プロンプトが表示されたらパスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 3	mdns-sd service-list service-list-name {in out} 例： Device(config)# mdns-sd service-list VLAN100-list in	mDNS サービスリストを設定します。
ステップ 4	match service-definition-name [message-type {any announcement query}] 例： Device(config-mdns-sl-in)# match PRINTER message-type announcement	サービスをメッセージタイプと照合します。ここで、 <i>service-definition-name</i> は、 <i>airplay</i> 、 <i>airserver</i> 、 <i>airtunes</i> などのサービスの名前を指します。 (注) サービスを追加するには、サービス名がプライマリサービスリストに含まれている必要があります。 mDNS サービスリストが IN に設定されている場合、適用可能なコマンド構文は match service-definition-name [message-type {any announcement query}] です。 mDNS サービスリストが OFF に設定されている場合、適用可能なコマンド構文は match service-definition-name です。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 5	exit 例： Device(config-mdns-sl-in)# exit	mDNS サービス リスト コンフィギュレーション モードを終了します。

サービスポリシーの作成

インターフェイスに適用するサービスポリシーでは、許可する Bonjour サービスアナウンスメント、あるいは入力方向や出力方向で処理する特定のサービスタイプのクエリを指定します。このため、サービスポリシーでは2つのサービスリストを定義します。入力方向と出力方向に1つずつです。Local Area Bonjour ドメインでは、同じサービスポリシーを1つ以上の Bonjour クライアント VLAN に割り当てることができます。ただし、VLAN ごとにサービスポリシーが異なる場合があります。

サービスリストを使用してサービスポリシーを設定するには、次の手順を実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 プロンプトが表示されたらパスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	mdns-sd service-policy service-policy-name 例： Device(config)# mdns-sd service-policy mdns-policy1	mDNS サービスポリシーを設定します。
ステップ 4	service-list service-list-name {in out} 例： Device(config-mdns-ser-pol)# service-list VLAN100-list in Device(config-mdns-ser-pol)# service-list VLAN300-list out	入力方向と出力方向のサービスリストを設定します。
ステップ 5	exit 例： Device(config-mdns-ser-pol)# exit	mDNS サービス ポリシー コンフィギュレーション モードを終了します。

サービスポリシーと Wide Area Bonjour ドメインの関連付け

Wide Area Bonjour では、サービスポリシーはグローバルに設定します。Local Area Bonjour の場合のように、VLAN には関連付けません。

サービスポリシーをグローバルに設定するには、次の手順を実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 プロンプトが表示されたらパスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 3	service-export mdns-sd controller controller name 例： Device (config)# service-export mdns-sd controller DNAC-BONJOUR-CONTROLLER	コントローラ名を指定し、サービスエクスポートモードを開始します。
ステップ 4	controller-address ipv4-address 例： Device (config-mdns-sd-se)# controller-address 199.245.1.7	コントローラのアドレスを指定します。
ステップ 5	controller-port port-number 例： Device (config-mdns-sd-se)# controller-port 9991	コントローラが待機しているポート番号を指定します。
ステップ 6	controller-source-interface interface-name 例： Device (config-mdns-sd-se)# controller-source-interface Loopback0	コントローラの送信元インターフェイスを指定します。
ステップ 7	controller-service-policy service-policy-name out 例： Device (config-mdns-sd-se)# controller-service-policy policy1 OUT	コントローラで使用するサービスポリシーを指定します。 (注) Wide Area Bonjour には、出力方向のポリシーのみが適用されます。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 8	exit 例： Device(config-mdns-sd)# exit	コントローラサービスのエクスポート コンフィギュレーションモードを終了 します。
ステップ 9	mdns-sd gateway 例： Device(config)# mdns-sd gateway	mDNS ゲートウェイ コンフィギュレー ション モードを開始します。
ステップ 10	ingress-client query-suppression enable 例： Device(config-mdns-sd)# ingress-client query-suppression enable	拡張性とパフォーマンスを向上させる ため、入力クエリの抑制を有効にしま す。
ステップ 11	exit 例： Device(config-mdns-sd)# exit	mDNS ゲートウェイ コンフィギュレー ション モードを終了します。

